

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

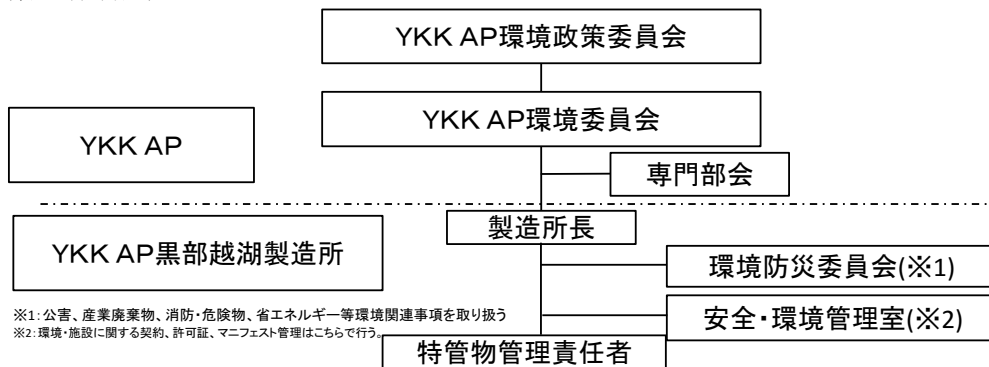
（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 6 年 6 月 27 日	
富山県知事	
新 田 八 朗 殿	
提出者	
住 所 富山県黒部市吉田9425	
氏 名 YKK AP株式会社 黒部越湖製造所	
執行役員 製造所長 前田 真次	
電話番号 0765-57-0815	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	YKK AP株式会社 黒部越湖製造所
事業場の所在地	富山県黒部市吉田9425
計画期間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	5-16 金属製品製造業
② 事業の規模	31,019百万円
③ 従業員数	920名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1のとおり

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】			
	産業廃棄物の種類			
	排出量		別紙2のとおり	t
	(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類			
	排出量		別紙2のとおり	t
	(今後実施する予定の取組)			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の各委託処理業者が適正に処理処分できるよう、工程毎に発生したものをそれぞれ種類ごとに分別・保管、各工程共通のものは種類ごとに集め保管している。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 現状の処理ルートに基づき、分別基準は確立している。今後、更なる抑制、再生利用を行う場合は、それに応じて随時分別を実施する。

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	686.5 t	— t
	（これまでに実施した取組） 排水処理工程で発生する汚泥の脱水処理		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	汚泥	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	1103.0 t	— t
	（今後実施する予定の取組） 排水処理工程で発生する汚泥の脱水処理の継続		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	（これまでに実施した取組） 該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	（今後実施する予定の取組） 該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量		t
	優良認定処理業者への処理委託量		t
	再生利用業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t
	（これまでに実施した取組） 焼却残渣の路盤材化など埋め立てを行わない業者への処理委託を極力行い再資源化を推進している他、およそ九割の量については優良認定業者に処分を委託している。		
	別紙3のとおり		

②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類		別紙3のとおり	
	全処理委託量			t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量			t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量			t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量			t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量			t
	(今後実施する予定の取組)			
	引き続き上記の取り組みを継続する。			
※事務処理欄				

(第 6 面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙1 産業廃棄物の 一連の処理の工程(令和5年度実績)

種 類	発生源	処理方法(現状の工程) 凡例 ○: 自己処理 (中): 中間処理 ●: 委託処理	備考	合計 / 排出量(トン) [※] 自己脱水後
ガラス類	プレス脱脂研磨工程	焼却(中)●→路盤材原料●	熱回収・優良・再生利用	1.47
ガラス類	工場全般	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	0.06
ガラス類	工場全般	破碎・脱水銀化(中)●→原材料・金属回収・埋立●	優良・再生利用	0.48
ガラス類	試作試験工程	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	2.19
ガラス類	防耐火試験工程	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	36.95
汚泥	プレス脱脂研磨工程	混練(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.36
汚泥	工場全般	混練(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	15.43
汚泥	工場全般	破碎(中)●→原材料・金属回収●	優良・再生利用	0.15
汚泥	塗装工程	混練(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	13.84
汚泥	塗装工程	脱水(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	26.36
汚泥	排水処理工程	混練(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	6.02
汚泥	板金工程	焼却(中)●→路盤材原料●	熱回収・優良・再生利用	0.65
汚泥	排水処理工程	脱水○⇒混練(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	[※35.48] 722.00
金属くず	工場全般	切断・選別(中)●→金属回収・路盤材原料●	再生利用	0.06
金属くず	工場全般	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	0.38
廃アルカリ	工場全般	中和(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.01
廃プラ類	押出部品工程	切断・剥離・破碎(中)●→製品原材料	再生利用	4.55
廃プラ類	押出部品工程	破碎・圧縮固化(中)●→固形燃料	優良・再生利用	4.89
廃プラ類	押出部品工程	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	11.75
廃プラ類	工場全般	焼却(中)●→路盤材原料●	熱回収・優良・再生利用	2.70
廃プラ類	工場全般	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	17.56
廃プラ類	試作試験工程	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	0.10
廃プラ類	樹脂部品工程	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	37.89
廃プラ類	部品供給工程	破碎・選別(中)●→路盤材原料●	優良・再生利用	19.71
廃酸	プレス脱脂研磨工程	中和(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.02
廃酸	工場全般	中和(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.09
廃油	ビス工程	油水分離(中)●→燃料	優良・再生利用	2.51
廃油	プレス脱脂研磨工程	混合(中)●→燃料	優良・再生利用	0.65
廃油	工場全般	混練(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.00
廃油	工場全般	焼却(中)●→ペレット製造・セメント原料●	優良・再生利用	9.81
廃油	工場全般	焼却(中)●→路盤材原料●	熱回収・優良・再生利用	1.41
廃油	工場全般	油水分離(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.97
廃油	排水処理工程	油水分離(中)●→セメント原料●	優良・再生利用	0.55
木くず	工場全般	破碎・選別(中)●→燃料	再生利用	20.44
木くず	防耐火試験工程	破碎・選別(中)●→燃料	再生利用	9.69
産業廃棄物合計				971.70

別紙2 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(令和5年度実績、令和6年度計画)

種 類	発生源	発生実績 (t/年) (令和5年度)	発生計画 (t/年) (令和6年度)	排出抑制量 実績 (t/年) (令和5年度)	具体的取組 実績 (令和5年度)	排出抑制量計画 (t/年) (令和6年度)	具体的取組 計画 (t/年)
汚泥	プレス脱脂研磨工程	0.36	0.40				
	工場全般	15.58	16.25				
	塗装工程	40.20	42.03				
	排水処理工程	728.02	1171.95	686.52	脱水処理	1103.0	脱水処理
	板金工程	0.65	0.12				
ガラス・陶磁器くず	プレス脱脂研磨工程	1.47	1.50				
	工場全般	0.54	0.67				
	試作試験工程	2.19	2.07				
	防耐火試験工程	36.95	32.48				
金属くず	工場全般	0.44	0.39				
廃プラ類	押出部品工程	21.19	23.40	40.35	RPF化	41.16	RPF化
	工場全般	20.26	14.84	30.33	RPF化	31.50	RPF化
	樹脂部品工程	37.89	44.35				
	試作試験工程	0.10	0.10				
	部品供給工程	19.71	18.30				
廃油	工場全般	12.19	13.54				
	プレス脱脂研磨工程	0.65	1.66				
	ビス工程	2.51	2.51				
	排水処理工程	0.55	1.40				
廃酸	プレス脱脂研磨工程	0.02	0.00				
	工場全般	0.09	0.09				
廃アルカリ	工場全般	0.01	0.00				
木くず	工場全般	20.44	21.51			1.80	RPF化
	防耐火試験工程	9.69	10.28				
合計		971.70	1419.83	757.21		1177.41	

別紙3 産業廃棄物の処理の委託に関する事項(令和5年度実績、令和6年度計画)

[illegible][illegible]